

# 羽村市下水道総合計画

概要版

平成22年3月

東京都羽村市

# 1 計画策定の趣旨

## (1) 計画策定の背景

羽村市の下水道事業は、更なる生活環境の向上及び施設の経年劣化の面から、今後、下水道施設の老朽化対策や浸水・地震への対応、下水道経営健全化などに、取り組んでいきます。このため、現状における下水道事業の課題・施策を検証し、今後の事業・経営の方針として「羽村市下水道総合計画」を策定することとしたものであります。

【羽村市の公共下水道事業に求められる取り組み】

下水道施設の老朽化対策への取り組み

浸水・地震対策への取り組み

経営の健全化に向けた取り組み

## (2) 計画策定の目的

本計画は、社会、経済情勢の変化に即し、下水道施設の老朽化対策、浸水・地震対策、経営の健全化などの多様な課題への対応や下水道サービスの維持・向上を柱とし、様々な視点から下水道事業の全体を捉え、効率的な事業経営を進めていくことを目的とします。

## (3) 計画の位置付け

羽村市下水道総合計画は、羽村市長期総合計画等の各種計画と連動します。

また、本計画における施策の内容や実施スケジュールは、上位計画である羽村市第五期長期総合計画と整合を図ります。

## (4) 計画期間

本計画の計画期間は、20年間とします。計画初年度は平成22年度（2010年）とし、平成31年度（2019年）までの10年間を前期計画期間とし、平成32年度（2020年）から平成41年度（2029年）までの10年間を後期計画期間とします。

# 2 下水道事業の概要

## (1) 羽村市公共下水道事業のあゆみ

### ■ 『汚水』

汚水整備は、平成19年度末で市街化調整区域のうち、計画が進められている羽字武蔵野等地区を除き、整備面積は822.1haで、整備率はほぼ100%となっています。

羽村市公共下水道事業のあゆみ 『汚水』

昭和48年度	下水道事業認可(多摩川上流処理区)の取得
昭和53年度	供用開始
平成16年度	下水道事業認可(秋川処理区)の取得
平成19年度	整備率ほぼ100%
平成20年度	水洗化率99.8%

## ■ 『雨水』

雨水整備は、平成20年度末で既認可面積854.5haのうち460haで、整備率は53.8%という状況となっています。

### 羽村市公共下水道事業のあゆみ 『雨水』

昭和48年度	下水道事業認可(多摩川上流処理区)の取得
平成16年度	流域下水道多摩川上流雨水幹線の供用開始
平成20年度	整備率53.8%

## (2) 公共下水道区域について

羽村市の公共下水道区域は、福生都市計画下水道事業の羽村市公共下水道事業として事業認可を受け、次のように区分されています。

### ■ 『汚水処理区』

汚水処理区には、多摩川上流処理区と秋川処理区があります。多摩川上流処理区の汚水は、昭島市内の多摩川上流水再生センターで処理されています。秋川処理区の汚水は、あきる野市に排水され、八王子水再生センターで処理されています。

### ■ 『雨水排水区』

雨水排水区は、清流町地区と多摩川河川敷を除く市内全域約899haを18の排水区に区分されています。

## (3) 流域下水道について

### ■ 『汚水』

#### 【多摩川上流処理区】

この処理区は本市の他に、立川市、青梅市、昭島市、福生市、武蔵村山市、瑞穂町、奥多摩町で構成されています。本市の多摩川上流処理区域の汚水は、流域下水道幹線に接続し、昭島市にある多摩川上流水再生センターで処理されています。

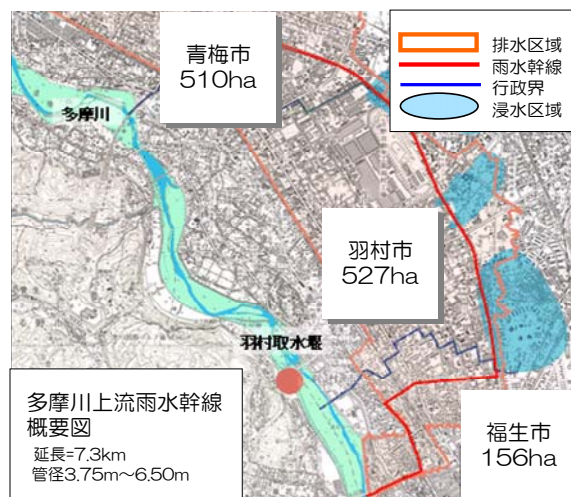
#### 【秋川処理区】

この処理区は本市(清流町)の他に、八王子市、昭島市、日野市、あきる野市、日の出町、檜原村で構成されています。清流町地区の汚水はポンプ圧送によりあきる野市側へ送り、八王子市にある八王子水再生センターで処理されています。

### ■ 『雨水』

#### 【多摩川上流雨水幹線】

東京都では、本市、青梅市、福生市と一体となって、わが国初の広域的な流域下水道事業として、都市下水路沿いに多摩川上流雨水幹線を整備し、この幹線により、多摩川に放流しています。



### 3 下水道事業の現状と課題

本市における下水道事業の現状と課題を、以下に示します。

項目	事業	現状	課題
下水道の整備	汚水	平成20年度での汚水管きよの整備総延長は181.8kmです。	未整備地区の汚水管きよの整備が求められています。
	雨水	平成20年度での雨水管きよの整備総延長は64.9kmです。このうち約30kmは区画整理事業で整備し、下水道に移管されたものです。	雨水管きよ整備の推進と、区画整理事業で整備された雨水管きよの能力評価や機能向上が求められています。
	共通	既成市街地の再編整備事業として、羽村駅西口土地区画整理事業が進められています。	羽村駅西口土地区画整理地区の管きよの整備や既設管きよの更新を計画的に推進することが求められています。
下水道施設の老朽化	共通	平成36年から管きよの耐用年数を迎えます。	適切な維持管理と効果的な整備により、施設の長寿命化と事業の平準化を図ることが求められています。
浸水対策	雨水	那賀排水区雨水計画での対策を進めています。	浸水被害の軽減を図るため、雨水管きよの整備を進めていくことが必要です。
		流出抑制による浸水対策として、住宅地等での雨水の宅地内浸透施設の整備促進を進めています。	ゲリラ豪雨により、雨水管きよの排水能力を超えないよう雨水浸透施設の設置を推進するとともに、排水能力を超えた場合、その危険を防除するための対応が求められています。
下水道の耐震対策	汚水	概略耐震診断の結果、①管に懸かる力が破壊の限界を上回らないこと、②管とマンホール接合部の屈曲角及び抜出量が許容値を上回らないこと、③地震時には隣層側へ地下水が逃げるため、液状化は発生しないことが確認できています。	地震のメカニズムには不明確な部分も多いため、今後、管きよの改築更新事業等と併せて、管きよ毎の耐震性を精査し、大地震動に対応した対策を実施していくことが求められています。
	共通		減災対策として、広域避難所等におけるマンホールトイレシステムの整備が求められています。
不明水対策	汚水	正確な不明水量の把握が困難なため、流域下水道関連市町村で流入水量に応じた負担をしています。	不明水量を正確に把握をしていないことから、流域関連市町村とその解決に向けた協議、調整を行い、東京都に働きかけていきます。また、本市独自で不明水の多い区域や路線を特定し、今後の改築更新に合わせて、対策を行っていくことが効果的です。
継続的な維持管理	汚水	有害物質等を含んだ下水が事業所等から管きよへ流入することを防止するため、東京都と共同で水質検査を実施し、違反者に対しては注意書の配布、説明による指導を行っています。	事業所等から排出される下水の水質を引き続き監視・指導することが求められます。
	共通	問題や不具合の発生後、必要に応じた清掃及び修繕を行っています。  下水道台帳システムでは、下水道施設情報のみを管理しています。	維持管理計画に基づいた、予防保全型の維持管理が求められています。  維持管理情報の蓄積が求められます。
下水道事業経営	汚水	羽村市の維持管理費、流域下水道維持管理負担金とともに、ほぼ横ばいの傾向を示しています。  使用料収入は7～8億円程度で推移していますが、使用料収入の基となる年間有収水量は、平成12年度をピークに緩やかな減少傾向が見られます。	限られた予算内での効率的な維持管理が求められています。また、流域下水道維持管理負担金が多いことも課題であり、縮減に向けた対応を東京都に強く働きかけていくことが必要です。  安定した下水道事業経営のためには、維持管理費(資本費含む)の財源を確保することが必要です。このためには、長期的な使用料対象経費の見直しを行い、適正な使用料金を設定するとともに、維持管理費の削減、計画的な施策の展開が必要となります。
	共通	羽村市が下水道に着手してから現在までに投資した建設費は、総額293億2,300万円です。  起債残高は平成12年度をピークに年々減少、元利償還は平成19年度をピークに減少傾向にあります。	限られた予算内で事業を継続するために、施設の更新の平準化並びに施設の長寿命化が求められます。  今後、改築更新や浸水対策を行うにあたり、多額の市債を借り入れることが予測されるため、市債元利償還費や残高などの状況も注視しながら、適切に対応することが求められます。
下水道事業における財政収支による現状分析	汚水	資本費(市債元利償還費)を含めた全体的な使用料回収率をみると71.4%であり、類時団体等の平均値より低く、汚水処理費に多くの資本費(市債元利償還費)が含まれています。	経営健全化に向けた経営基盤の強化が必要です。
	雨水	雨水管きよは、今後も引き続き整備する必要があり、多額の建設費が必要となります。	雨水の整備は公費負担なので、財政面での収入と支出のバランスを考慮した事業計画を行っていく必要があります。

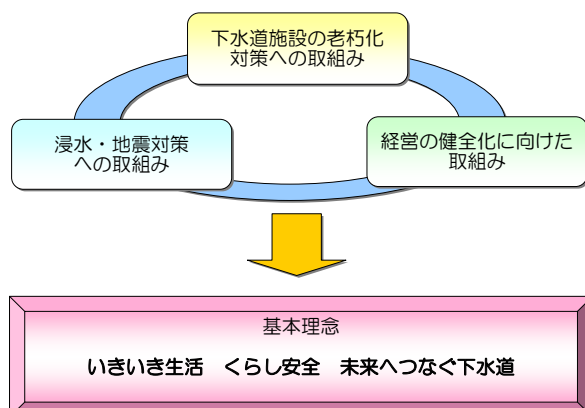
## 4 基本理念

本市の下水道は、美しく快適な住みよいまちづくりを目指し、現在に至っています。

今まで築き上げた本市の下水道を活かしながら、新たに、下水道施設の老朽化対策や浸水・地震対策、経営の健全化に向けた取り組みが必要となってきています。

また、『第四次羽村市長期総合計画』では、本市の将来像として「～ひとに心 まちに風～いきいき生活実感都市 はむら」を掲げています。

こうしたことを踏まえ、本計画の基本理念は、「いきいき生活 暮らし安全 未来へつなぐ下水道」とし、本市の下水道が、現世代から次世代へと安心して使い続けられるように取り組んでいきます。



## 5 基本方針

基本理念を具現化するための基本方針を「安全で安心な住みよいまち」、「良好な水環境の創造」、「安定した下水道経営」とし、その実現に向け下水道事業を展開していきます。

### 安全で安心な住みよいまち

浸水被害や地震被害、また、下水管きよの老朽化に伴う道路陥没など、下水道に起因する事故の発生は、日常生活や都市機能に大きな影響を及ぼします。

市民の安全や財産を守るため、効果的な対策を行い、安全で安心な住みよいまちづくりを推進していきます。

### 良好な水環境の創造

下水道の普及促進によって、多摩川や東京湾の水質保全に寄与してきました。今後も良好な水環境を維持していく上で、下水道は大きな役割を担っています。

本市は、東京都民の水源地である玉川上水を有していることから、地下水保全などの健全な水循環の構築を図り、良好な水環境を創造していきます。

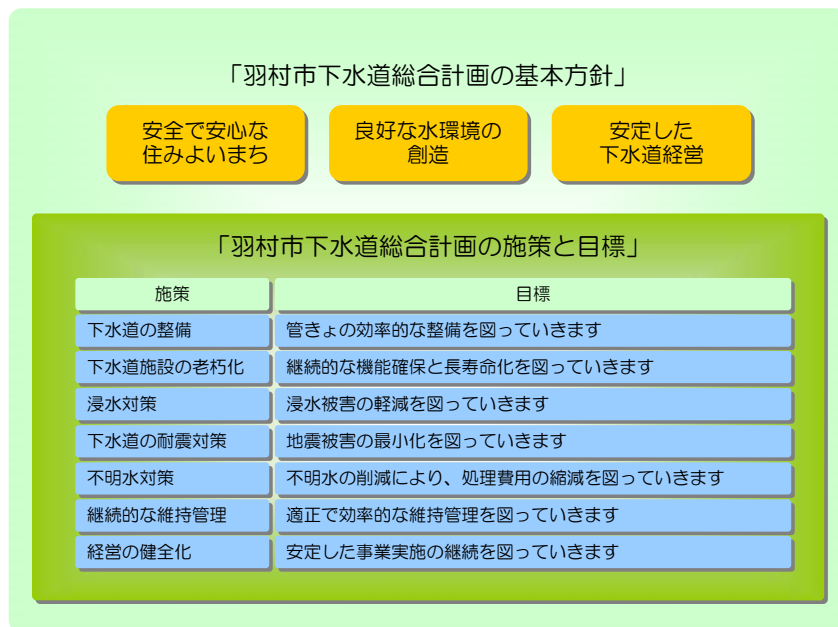
### 安定した下水道経営

下水道施設の適正な維持管理計画と、事業費の削減や平準化などを検討した財政収支計画に基づき、事業を実施します。

また、下水道事業の経営基盤強化や健全化を図り、持続的に安定した下水道経営を行っていきます。

## 6 施策と目標

基本方針を実現するための主な施策は、①下水道の整備、②下水道施設の老朽化、③浸水対策、④下水道の耐震対策、⑤不明水対策、⑥継続的な維持管理、⑦経営の健全化であり、それぞれの目標は次のとおりです。



## 7 施策の展開

### (1) 下水道の整備

#### 目標

管きよの効率的な整備を図っていきます。

#### 施策の方向

汚水管きよの整備は、未整備箇所の整備を行っていきます。

雨水管きよの整備は、雨水整備基本計画を策定し、整備を行っていきます。

また、羽村駅西口土地区画整理地区は、事業の進捗に合わせ、下水道整備を行っていきます。

#### 施策の展開

- 必要な法手続の策定
- 汚水管きよの整備
- 雨水管きよの整備
- 羽村駅西口土地区画整理事業に合わせた下水道の整備

## (2) 下水道施設の老朽化

### 目標

継続的な機能確保と長寿命化を図っていきます。

### 施策の方向

従来は、耐用年数や維持管理点検状況から判断し、管きよを改築更新していましたが、今後は、より計画的に事業を実施していくことが求められます。

### 施策の展開

○長寿命化の実施

## (3) 浸水対策

### 目標

浸水被害の軽減を図っていきます。

### 施策の方向

浸水被害の軽減を図るために、雨水管きよの整備や雨水浸透施設の整備を行います。また、浸水被害が発生した那賀排水区では、平成 19 年度に策定した「羽村市公共下水道那賀排水区雨水計画」に基づき、今後、中・長期的な対策を検討していきます。

### 施策の展開

○雨水浸透施設整備の推進 ○羽村市公共下水道那賀排水区雨水計画の推進

## (4) 下水道施設の耐震対策

### 目標

地震被害の最小化を図っていきます。

### 施策の方向

地震のメカニズムには、不明確な部分も多いため、今後、管きよの改築更新事業等と併せて、耐震性を精査し、必要に応じて耐震化を図っていきます。

また、避難所等におけるトイレ対策についても、検討を行っていきます。

### 施策の展開

○耐震対策の推進 ○マンホールトイレシステム等の検討

## (5) 不明水対策

### 目標

不明水の削減により、処理費用の縮減を図っていきます。

### 施策の方向

不明水の増加は、経営に悪影響を与えるだけでなく、水再生センターでの安定した水処理機能に支障をきたす可能性があるため、本市から実際にどの程度の不明水が発生しているか現状を把握し、これを削減していく努力が必要です。

### 施策の展開

- 不明水対策

## (6) 継続的な維持管理

### 目標

適正で効率的な維持管理を図っていきます。

### 施策の方向

適正で効率的な維持管理のためには、予防保全型の維持管理を行っていくことが必要です。

このためには、維持管理計画を策定し、問題を適切に予想し事故の発生を未然に防ぐよう維持管理を行う必要があります。

なお、この維持管理で収集された情報は、長寿命化計画に活用していきます。

また、事業所等から、排除される下水の水質基準を超えた排水が、公共下水道管へ流入することを防止していきます。

### 施策の展開

- 維持管理計画の策定と実施
- 下水道台帳の機能拡張
- 事業所等からの排水の監視



## (7) 経営の健全化

### 目標

安定した事業実施の継続を図っていきます。

### 施策の方向

今後は、老朽化した下水道施設の更新など、新たな課題に取り組んでいくために、事業費の確保が必要となります。

しかしながら、現状では、市債元利償還に多額の費用が必要となっています。

汚水処理経費では、使用料回収率の割合が7割程度であり、一般会計からの繰入金に依存している状況です。

公営企業としての経営健全化のために、今後の工事にかかる建設費のコストを縮減するとともに、適正な維持管理や業務効率化についても検討を行っていきます。

さらに、使用者への適正な負担を求めていくなどの経営努力を行います。

また、会計方式を官庁会計方式から企業会計方式へ移行することで、発生主義や複式簿記の適用など、企業としての財務状況や経営成績を明確にすることで、より健全な経営に向けた努力や意識の向上などを行っていきます。

### 施策の展開

○建設費のコスト縮減 ○使用料金の適正化 ○企業会計への移行

## 8 事業計画

本計画では、下水道に関する施策を取りまとめ、目標年次を平成41年として、計画期間20年を、前期(平成22～31年)と後期(平成32～41年)の10年に分けています。

### 前期(平成22年～31年)

前期計画については、平成24年度にスタートする「第五次羽村市長期総合計画」と整合を図りながら、具体的な実施時期・事業費を設定していきます。

### (1) 下水道の整備

#### 必要な法手続の策定

年次計画	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業計画変更認可 ・都市計画法変更認可	申請					申請				
10年間の事業費推計(千円)	19,000									

## 污水管きよの整備

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
污水管きよの整備	工事									
10年間の事業費推計(千円)	149,000									

## 雨水管きよの整備

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
奥多摩街道雨水管きよ布設 実施計画	設計									
奥多摩街道雨水管きよ布設 工事		工事								
雨水整備基本計画			計画							
雨水管きよの整備				整備						
10年間の事業費推計(千円)	39,000			-						

## 羽村駅西口土地区画整理事業 に合わせた下水道の整備

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
羽村駅西口土地区画整理事業 に合わせた下水道の整備	協議		工事							
10年間の事業費推計(千円)	1,519,000									

## (2) 下水道施設の老朽化

### 長寿命化の実施

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
長寿命化基本計画	調査研究		計画							
長寿命化実施計画					計画				計画	
管路内TVカメラ調査				調査						調査
長寿命化実施設計					設計					設計
長寿命化工事					工事					
10年間の事業費推計(千円)	1,029,000									

### (3) 浸水対策

#### 雨水浸透施設整備の推進

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
雨水浸透施設整備の推進	推進									
10年間の事業費推計(千円)	25,000									

#### 那賀排水区雨水計画の検討

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
那賀排水区雨水施設の検討	検討									
10年間の事業費推計(千円)	-									

### (4) 下水道施設の耐震対策

#### 耐震対策の推進

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
耐震対策の推進				推進						
10年間の事業費推計(千円)	-									

#### マンホールトイレシステムの検討

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
マンホール トイレシステムの検討	検討									
10年間の事業費推計(千円)	-									

### (5) 不明水対策

#### 不明水量の把握と削減

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
不明水量の把握と削減	協議									
10年間の事業費推計(千円)	-									

## (6) 継続的な維持管理

### 維持管理計画の策定と実施

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
維持管理計画の 策定と実施	点検・清掃・修繕									
10年間の事業費推計(千円)	141,000									

### 下水道台帳の機能拡張

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
下水道台帳の機能拡張	運用									
10年間の事業費推計(千円)	15,000									

### 事業所等からの排水の監視

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
事業所等からの排水の監視	水質検査									
10年間の事業費推計(千円)	42,000									

## (7) 経営の健全化

### 建設費のコスト縮減

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
建設費のコスト縮減	縮減									
10年間の事業費推計(千円)	-									

### 使用料金の適正化

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
使用料金の適正化				審議会				審議会		
10年間の事業費推計(千円)	-									

## 企業会計への移行

年次計画	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
企業会計への移行のための 調査研究	調査研究									
10年間の事業費推計(千円)	—									

## 後期(平成32年～41年)

後期計画については、社会情勢等の変化や前期計画を総括したうえで、見直しを行っていきます。

### (1) 下水道の整備

#### 必要な法手続の策定

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
事業計画変更認可 ・都市計画法変更認可	申請					申請				

#### 汚水管きよの整備

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
汚水管きよの整備	工事									

#### 雨水管きよの整備

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
雨水管きよの整備	整備									

#### 羽村駅西口土地区画整理事業 に合わせた下水道の整備

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
羽村駅西口土地区画整理事業 に合わせた下水道の整備	工事									

## (2) 下水道施設の老朽化

### 長寿命化の実施

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
長寿命化実施計画				計 画					計 画	
管路内TVカメラ調査	調査				調査					調査
長寿命化実施設計	設計				設計					設計
長寿命化工事	工事					工事				

## (3) 浸水対策

### 雨水浸透施設整備の推進

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
雨水浸透施設整備の推進	推進									

## (4) 下水道施設の耐震対策

### 耐震対策の推進

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
耐震対策の推進	推進									

## (5) 不明水対策

### 不明水量の把握と削減

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
不明水量の把握と削減	把握削減									

## (6) 継続的な維持管理

### 維持管理の実施

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
維持管理の実施	点検・清掃・修繕									

## (7) 経営の健全化

### 建設費のコスト縮減

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
建設費のコスト縮減	縮減									

### 使用料金の適正化

年次計画	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度
使用料金の適正化		審議 会				審議 会				審議 会

## 羽村市下水道総合計画策定検討委員会の開催経過

開催日		審議事項等
第1回	7月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の構成について</li> <li>・ 計画策定の進め方について</li> </ul>
第2回	9月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の背景について</li> <li>・ 下水道事業の概要について</li> <li>・ 下水道事業の現状と課題について</li> </ul>
第3回	10月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道事業の現状と課題について</li> <li>・ 基本方針について</li> <li>・ 施策と目標について</li> <li>・ 施策の展開について</li> <li>・ 事業計画について</li> </ul>
第4回	11月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画について</li> </ul>
報告	1月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討結果を市長に報告</li> </ul>
第5回	3月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見公募手続きによる意見(1名、9件)の検討</li> </ul>



発行 平成 22 年 3 月  
東京都羽村市  
編集 羽村市建設部下水道課  
〒205-861 東京都羽村市緑ヶ丘 5-2-1  
TEL 042-555-1111

